

2011年10月24日

東日本大震災被災地9施設への地震・台風対策用防災ガラス寄贈を決定

AGC旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、東日本大震災被災地への支援活動として、岩手・宮城・福島各県の9施設へ、地震や台風などの災害発生時に防災効果のある防災ガラスを寄贈することとしました。寄贈した防災ガラスは9月より順次施工を開始しており、本年末には全9施設の施工が完了する見込みです。

AGCでは全国指定避難場所の安全対策普及を目的として、指定避難場所に防災ガラスを寄贈するプロジェクト「ガラスパワーキャンペーン」を2005年10月に開始し、これまで23か所に防災ガラスを寄贈しています。

この「ガラスパワーキャンペーン」の一環として、各自治体と相談の上、東日本大震災被災地の指定避難場所9か所に防災ガラスを寄贈することとしました。寄贈先は以下の通りです；

岩手県

小友保育所	(陸前高田市)
山田町立山田北小学校	(山田町)
城山体育館	(大槌町)

宮城県

石巻市立橋浦小学校	(石巻市)
気仙沼市立松岩中学校	(気仙沼市)
名取市立増田小学校	(名取市)

福島県

福島県立磐城高等学校	(いわき市)
福島県立郡山高等学校	(郡山市)
福島県立会津高等学校	(会津若松市)

被災地が復旧・復興し、被災者の方々が再び安心して暮らせる日が一日も早く来ることを、心より祈念いたします。

以 上

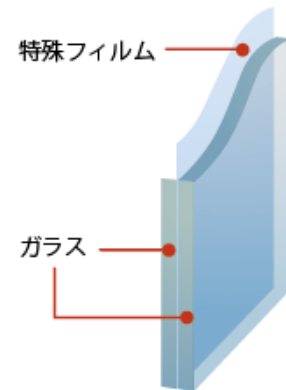
- ◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC**旭硝子（株）広報・IR室長 上田 敏裕
(担当：小田 TEL：03-3218-5603 E-mail：info-pr@agc.com)
- ◎ガラスパワーキャンペーン事務局 <http://www.glasspower.jp/>
(TEL：03-3218-7762 E-mail：glasspower@agc.com)

【ご参考】

防災ガラスについて

今回寄贈する防災ガラスは、2枚のガラスと特殊フィルムを熱圧着した製品です。以下のような特徴があることから、地震や台風などの災害発生時にも避難所を安全に保ち、またガラスによる二次災害を防止します；

- ・物がぶつかってもガラスが割れ落ちにくい
- ・割れたガラスによる大きな怪我が防げる
- ・穴が開きにくいのでガラスが破損しても雨風が防げる



割れ方の違い



普通一枚ガラス



防災ガラス

AGCグループの東日本大震災 被災地支援について

AGCグループは、このたびの震災で被災された皆様と被災地に対し、これまで下記の支援活動を行ってきました。(いずれも10月1日時点)

①義援金・支援金

被災地の復旧・復興に役立てて頂くために、旭硝子(株)が3億円を中央共同募金会に寄付したほか、国内外のグループ会社合計で約1千万円を、ジャパンプラットホームや各国・地域の赤十字などを通じて寄付しました。

②緊急支援物資

旭硝子(株)の本社・工場ならびにグループ会社にて備えていた非常時用の備品・食糧など約1千万円相当を、青森県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・茨城県の地方公共団体や災害ボランティアセンターなどへ提供しました。

(物資内容)

- ・レトルト食品 約8000食
- ・水 約7000リットル
- ・生活用品 約30品目 (羽毛布団、タオル、紙皿、軍手、電池など)
- ・衛生用品 約10品目 (マスク、消毒液、バケツ、ティッシュペーパーなど)

③当社グループ製品による支援

被災地に以下自社製品の無償提供を行っています。

製品	数量	支援先
コレール (全面積層強化ガラス食器)	約13万点	岩手県・山形県・宮城県・ 福島県
理化学ガラス (ビーカー、フラスコなど)	約31万点	東北地方の大学
保冷枕	300個	岩手県

④従業員ボランティア

当社グループ従業員が参加した主なボランティア活動は以下の通りです。

区分	活動場所	参加人数
救援物資詰め合わせ	東京都・愛知県	15名
現地復旧	岩手県・宮城県・福島県	68名
フリーバザー運営	岩手県	26名

以 上